2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社ワイヤレスゲート　　上場取引所　東
コード番号　　9419　　ＵＲＬ　https://www.wirelessgate.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役CEO　　（氏名）成田　徹
問合せ先責任者　（役職名）取締役COO兼CFO　　（氏名）原田　実　　ＴＥＬ　03-6433-2045

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	8,102	－	169	－	159	－	99	－
2025年12月期第３四半期	－	－	－	－	－	－	－	－

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　99百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　－百万円（－%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	9.10	9.10
2025年12月期第３四半期	－	－

（注）当社は、2025年12月期第４四半期より連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期第３四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,242	1,695	39.9
2025年12月期	4,412	1,596	36.1

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　1,693百万円　2025年12月期　1,594百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	31.8	430	151.3	420	143.0	250	△11.1	23.00

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	10,938,574株	2025年12月期	10,938,574株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	61,000株	2025年12月期	58,000株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	10,879,563株	2025年12月期３Ｑ	10,885,574株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、決算短信（添付資料）４ページ「１．経営成績等の概況　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当四半期の経営成績の概況 …… 2
（２）当四半期の財政状態の概況 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 7
（セグメント情報等の注記） …… 7

１．経営成績等の概況

（１）当四半期の経営成績の概況

当社グループは、前第４四半期連結会計期間より連結決算に移行いたしました。そのため、前第３四半期連結累計期間に連結損益及び包括利益計算書において子会社の損益を連結していないことから、前年同四半期との比較分析は行っておりません。

当第３四半期連結累計期間(2026年１月１日～2026年９月30日)におけるわが国経済は、訪日需要の底堅い推移を背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、為替相場の変動、物価上昇の影響、人手不足を背景とした人件費の上昇等が続いており、経営環境の先行きは依然として不透明な状況が継続しております。

このような環境の中、当社では引き続き「原価改善」及び「営業チャネルの開拓」などによる収益基盤の強化を推進し、経営効率の向上を図ってまいりました。主力のWiMAXサービスにおいては、継続的な営業活動を実施した結果、当第３四半期連結会計期間末の契約数は前年同期比99.4%となりました。 引き続き、累計契約数の回復・拡大を重要な課題と認識し、新たな営業チャネルの開拓や既存チャネルの強化を通じて、契約数の回復・拡大に取り組んでまいります。

また、WiMAXを補完する新商品の展開につきましては、PHILIPS製マウス及びリカバリーウエア等の新カテゴリー商品の拡販に注力するとともに、新たな商材の選定を進めており、収益の安定化と再成長に向けた取り組みを継続しております。さらに周辺商品として「ワイヤレスゲートWi-Fi＋スマホ保険付き／PC保険付き」、「ウイルスバスター」などの契約（販売）にも引き続き注力し、収益基盤の強化に取り組んでまいります。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は、8,102,853千円となりました。利益につきましては、営業利益169,885千円、経常利益159,204千円、親会社株主に帰属する四半期純利益99,030千円となりました。

当社グループは、Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業の単一セグメントでありますが、売上高につきましては区分して記載しており、それぞれの事業ごとの取組みは次のとおりであります。

なお、当第３四半期連結累計期間より、主力であるWi-Fiサービスを基盤としつつ、今後はグローバルeSIMサービスを成長の中核にする方針を明確化するため、従来「ワイヤレス・ブロードバンド関連事業」としていた報告セグメントの名称を「Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業」に変更しております。また、前第４四半期連結会計期間において株式会社FREEDiVEを完全子会社化したことにより、当社のワイヤレス・リモートサービス事業と株式会社FREEDiVEのモバイルWiFiサービス事業に売上高の区分を変更しております。

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）	増減額	増減率 （%）
Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業	8,102,853	－	－
株式会社ワイヤレスゲート	6,611,415	－	－
株式会社FREEDiVE	1,491,437	－	－

(Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業)

当第３四半期連結累計期間における売上高は8,102,853千円となりました。

・株式会社ワイヤレスゲート

ワイヤレス・リモートサービス事業の売上高の約８割を占めるWiMAXについては、ホームルーター普及による市場拡大を機会と捉え、営業活動の強化や販売代理店との協業深化を通じて、多様化するお客様のニーズに対応した販売体制の強化を進めてまいります。また、モバイルルーター及びホームルーターの需要獲得に取り組むとともに、「ワイヤレスゲートWi-Fi＋スマホ保険付き／PC保険付き」、「ウイルスバスター」、「ピカプロDX」などの周辺サービスの販売拡大や新商品の開拓を通じて、顧客単価の向上及び収益基盤の強化に取り組んでまいります。

この結果、株式会社ワイヤレスゲートの当第３四半期連結累計期間における売上高は6,611,415千円となりました。

・株式会社FREEDiVE

グループ会社である株式会社FREEDiVEにおいて、「MUGEN WiFi」、「AIR-WiFi」及び「5G CONNECT」のモバイルWiFiサービスを展開しております。いずれのサービスもデジタルマーケティングを通じたEC販売を主軸とし、多様化するお客様のニーズをタイムリーに捉えマーケティングを実施することにより、顧客獲得の拡大に取り組んでおります。

この結果、株式会社FREEDiVEの当第３四半期連結累計期間における売上高は1,491,437千円となりました。

（２）当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産の状況

当第３四半期連結会計期間末における資産・負債及び純資産の状況とそれらの要因は次のとおりです。

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期 連結会計期間 （2026年９月30日）	増減額	増減率 （%）
流動資産	3,044,716	2,915,320	△129,395	△4.2
固定資産	1,367,760	1,326,760	△40,999	△3.0
資産合計	4,412,476	4,242,081	△170,395	△3.9
流動負債	2,025,382	1,887,068	△138,314	△6.8
固定負債	790,150	659,038	△131,111	△16.6
負債合計	2,815,533	2,546,107	△269,426	△9.6
純資産合計	1,596,943	1,695,973	99,030	6.2
負債・純資産合計	4,412,476	4,242,081	△170,395	△3.9

（資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における資産の額は、前連結会計年度末に比べ170,395千円減少し4,242,081千円となりました。

当第３四半期連結会計期間末における流動資産の額は、前連結会計年度末に比べ129,395千円減少し2,915,320千円となりました。これは主に、現金及び預金が62,764千円増加した一方で、売掛金が92,436千円、その他に含まれる短期貸付金が89,975千円減少したためであります。

当第３四半期連結会計期間末における固定資産の額は、前連結会計年度末に比べ40,999千円減少し1,326,760千円となりました。これは主に、FREEDiVE社株式の株式譲渡契約に基づくアーンアウト条項の適用によりのれんが25,830千円増加した一方で、レンタル資産が59,503千円減少したためであります。

（負債の部）

当第３四半期連結会計期間末における負債の額は、前連結会計年度末に比べ269,426千円減少し2,546,107千円となりました。

当第３四半期連結会計期間末における流動負債の額は、前連結会計年度末に比べ138,314千円減少し1,887,068千円となりました。これは主に、１年以内返済予定の長期借入金が24,219千円、未払法人税等が28,324千円増加した一方で、短期借入金が22,500千円、未払金が113,860千円減少したためであります。

当第３四半期連結会計期間末における固定負債の額は、前連結会計年度末に比べ131,111千円減少し659,038千円となりました。これは主に、長期借入金が93,892千円減少したためであります。

（純資産の部）

当第３四半期連結会計期間末における純資産の合計は、前連結会計年度末に比べ99,030千円増加し、1,695,973千円となりました。これは利益剰余金が99,030千円増加したためであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年２月13日に公表しました通期の連結業績予想に変更はありません。

（単位：百万円）

	2025年12月期（実績）	2026年12月期（予想）	増減率
売上高	8,348	11,000	31.8%
営業利益	171	430	151.3%
経常利益	172	420	143.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	281	250	△11.1%

※ 上記業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,683,111	1,745,875
売掛金	1,124,673	1,032,237
商品	104,993	83,826
その他	133,074	54,221
貸倒引当金	△1,135	△840
流動資産合計	3,044,716	2,915,320
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	380,986	321,483
その他（純額）	65,230	51,545
有形固定資産合計	446,217	373,028
無形固定資産		
のれん	575,138	600,968
その他	44,511	43,458
無形固定資産合計	619,649	644,427
投資その他の資産		
繰延税金資産	142,993	155,211
長期未収入金	96,944	96,763
その他	158,900	154,092
貸倒引当金	△96,944	△96,763
投資その他の資産合計	301,893	309,304
固定資産合計	1,367,760	1,326,760
資産合計	4,412,476	4,242,081
負債の部		
流動負債		
買掛金	992,613	989,370
短期借入金	25,000	2,500
１年内返済予定の長期借入金	201,893	226,112
未払金	583,625	469,764
未払法人税等	16,200	44,524
その他	206,049	154,796
流動負債合計	2,025,382	1,887,068
固定負債		
長期借入金	714,823	620,931
その他	75,327	38,107
固定負債合計	790,150	659,038
負債合計	2,815,533	2,546,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	933,131	933,131
資本剰余金	872,352	872,352
利益剰余金	△82,871	16,159
自己株式	△127,657	△127,657
株主資本合計	1,594,954	1,693,985
新株予約権	1,988	1,988
純資産合計	1,596,943	1,695,973
負債純資産合計	4,412,476	4,242,081

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書

（単位：千円）

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	8,102,853
売上原価	4,211,607
売上総利益	3,891,246
販売費及び一般管理費	3,721,360
営業利益	169,885
営業外収益	
受取利息	1,213
受取配当金	1
貸倒引当金戻入額	3,457
雑収入	4,300
その他	2,751
営業外収益合計	11,725
営業外費用	
支払利息	12,379
投資事業組合運用損	7,035
その他	2,990
営業外費用合計	22,406
経常利益	159,204
税金等調整前四半期純利益	159,204
法人税、住民税及び事業税	72,392
法人税等調整額	△12,218
法人税等合計	60,173
四半期純利益	99,030
（内訳）	
親会社株主に帰属する四半期純利益	99,030
四半期包括利益	99,030
（内訳）	
親会社株主に係る四半期包括利益	99,030

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	172,257千円
のれんの償却費	62,169千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

当社グループは、Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（報告セグメントの変更等に関する事項）

当第３四半期連結累計期間より、主力であるWi-Fiサービスを基盤としつつ、今後はグローバルeSIMサービスを成長の中核にする方針を明確化するため、従来「ワイヤレス・ブロードバンド関連事業」としていた報告セグメントの名称を「Wi-Fi・グローバルeSIMコネクティビティ事業」に変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に影響はありません。